

# 大学院ニュースレター

## 久留米大学大学院医学研究科

第93号 / 2019年12月19日発行

編集 / 医学研究科長

### 『久留米大学校歌』

解剖学講座（肉眼・臨床解剖部門） 教授 山木 宏一

久留米大学の建学の精神が「国手の矜持（ほこり）は常に仁なり」と成文化されました。これは、久留米大学の前身・九州高等医学専門学校の校歌（北原白秋作詞）4番にこの一節があり、久留米大学の建学の精神にふさわしいということで承認されたものです。また、2,3年前に久留米大学医学部医学科の理念が「国手の理想は常に仁なり」となりました。前述の校歌1番に一節があり、やはりここでも「仁」という言葉になっています。

「仁」を辞書で調べて見ると、①己に克ち、他に対するいたわりのある心。②愛情を他におよぼすこと。いつくしみ。思いやり。「仁の心が厚い」③ひと。かた。「見上げた御仁だ」などの意味がある。これをみても久留米大学生や久留米大学出身のOB, OGには、他の人に思いやりのある、いつくしみの心を持った人であって欲しいと思うものです。この建学の精神に至った経緯などは大学広報などで記載されるでしょうが、私自信久留米大学の柱となる言葉がこの「仁」であると思っています。特に、久留米大学医学部医学科の出身の我々は、「仁」という言葉があるいはその意味を忘れないで社会の為、人の為、患者の為に生きるつとめがあると信じています。解剖学教授として、解剖学実習を終えた学生には献体された方々に対する感謝とともに、医師は自分の為に生きるのではなく、社会のため、人の為、そして患者の為に生きてほしいと話しています。これがまさに「国手の理想は常に仁なり」だと思っています。この一節を建学の精神に、ある

いは医学科の理念にするとされた方々に敬意を表すばかりです。そしてなにより、九州高等医学専門学校の校歌を作詩した詩人北原白秋に賛辞と共に感謝するものであります。

校歌といえば、大学の式典や同窓会のいろいろな会合で必ず毎月のように歌います。それ故に覚えていますし、好きな歌の一つになっています。そこで、久留米大学の校歌を調べてみました。

久留米大学校歌は、昭和29年(1954年)11月1日、久留米市公会堂において発表されました。本校歌は、本学卒業の医師にして詩人である丸山豊作詞、日本を代表する作曲家團伊玖磨作曲による作品です。とホームページに記載されています。あまり関係はありませんが、私は、昭和29年11月9日に久留米市で生まれていますので、好きになる筈だと一人で喜んでいます。特に、好きな句は1番「光輝ある久留米大学」2番「歴史ある久留米大学」3番「未来ある久留米大学」です。丸山豊先生の同窓医師として詩人として考え尽くされた形の句ではないかと思っています。私は、時に同窓会などで1番だけとか、2番までなどと言われることを寂しく思います。1番の光輝ある、2番の歴史あるも良いのですが、やはり久留米大学は学生あつての久留米大学ですから若者の未来を思う歌詞が一番好きな一節になります。私は生あるかぎりこの大好きな久留米大学とその校歌を歌い続けたいと思っています。

## 『研究者に美意識は必要か』

感染医学講座（基礎感染医学部門） 教授 桑野 剛一

一芸に秀でた名人・芸術家や超一流のプロフェッショナル等が、何かを成し遂げた時、しばしば、直感・感性に従った言うことがある。また、この「直感・感性」は「真・美」等に基づいており、「美意識」と言い換えることができる。近年、ビジネスの世界、とりわけ企業トップのエリートの間では、その美意識を鍛えるために、美術館を訪問、アートスクール等で学ぶそうである。

ビジネスの世界で成功するためには、様々な場面における意思決定能力が不可欠である。ところが、過去の実績、経験値等を基盤とする意思決定は、今日の複雑系の世界では、もはや通用しないと言われる。そこで、最善の意思決定をするために、美意識が求められるようになり、冒頭に述べた如く企業トップはアートスクールへ通うのである。また、優れた企業・組織のトップには、必ずアートの素養をもった人材が必要である。その一例として、アップルの創業者であるスティーブ・ジョブズを上げることができる。歴史を遡れば、レオナルド・ダヴィンチが美術、医学、物理学等の様々な分野で比類なき才能を発揮したことは言うまでもない。

さて、医学研究者は自らの課題の解明に、論理的に思索を巡らしながら日々実験等の遂行に励んでいる。しかし、研究のストーリー（展開）に完璧な論理が構築できる訳ではない。そこで、止む無く幾らかの推論が入り込むのである。その推論が、研究者の能力と言うべきか、各々非常に個性が現れると思う。このような一連の論理的思索および推論のプロセスに美意識が関与するのではないかと疑問を呈したい。今日まで、美意識によって研究成果に差が生じるか否かに関する検証は寡聞にして知らない。

ここに興味深い研究報告がある。ミシガン州立大学のある研究チームが、ノーベル賞受賞者とその他の優秀な学者および一般人を対象に「芸術的趣味の有無」を調査したところ、ノーベル賞受賞者群は、他の群に比

して、絵画、楽器演奏等の芸術的趣味を持っている割合が有意に高いことを明らかにした。そこで、2012年ノーベル医学・生理学賞受賞者である山中伸弥先生をネットで調べたところ、芸術的趣味の情報は見当たらず、残念ながらランニング愛好家のようなのである。

美意識が関わる学問領域として、意外なことに数学をあげることができる。数学の世界は、論理をとことん突き詰めた学問領域である。異常なほど集中した思考の後、論理を超越・統合するためには「情緒」が必要であると高名な数学者であった岡潔先生が唱えられた。それは、岡潔先生がマティスの一連の作品を眺めている時に、その結論に至ったそうである。情緒（感性）が美意識かの議論は横に置くとして、一般人には、数学とマティスの作品がどう繋がるか容易に理解できない。しかし、このエピソードは美意識（情緒）が論理の隘路の打開に貢献する一例であろう。

さらに、美意識の教育効果について興味深い研究がある。美術鑑賞を教育に盛り込むと、数学、国語等の教科の成績が向上したそうである。しかし、美術鑑賞は単に作品を眺めるだけでは効果がなく、対話型鑑賞法が必要である。つまり、作品を眺めながら、「何が描かれているか、どう描かれているか」等を自問自答するのである。それによって、論理的思考が向上するらしい。美術鑑賞が自己開発のための手段となると、少し興ざめするが、さらなる検討に値する実践的教育手法である。

最後に、本命題である“研究者に美意識は必要か”、言い換えると日々の研究の遂行に役立つかと問われると、イエスと明言はできない。しかし、上述のように、企業経営トップの美術館訪問、非常に優秀な研究者は芸術的素養を有する、さらに教育における美術鑑賞効果等のエビデンスが示されており、研究遂行における美意識の有用性について、今後の検証を待つとともにポジティブな結果を期待したい。明日は、気分転換と実益を兼ねて美術館へ行きたくなった。

## 《事務通信》

### ◆修士課程第2学年学生の皆様へ◆

#### 学位論文提出と年度末スケジュール

##### 1. 学位論文申請書類と提出期限

〔提出期限：令和2年1月17日（金）17時（時間厳守）までに庶務課学位担当に提出〕

- ① 学位論文審査願 1通
- ② 主論文 4通（印刷公表が望ましい）
- ③ 参考論文 各2通（作成している者のみ）
- ④ 論文目録 1通
- ⑤ 論文要旨 1通
- ⑥ 履歴書 1通
- ⑦ 単位修得証明書 1通（教務課にて準備する）
- ⑧ 写真（4×3cm） 1枚

申請書類については、医学研究科ホームページ（<http://gmed.kurume-u.ac.jp/>）の書式ダウンロードページより入手して下さい。また、申請書類のうち①～⑥については、下書きを1月10日（金）までに学位担当に提出し、事前にチェックを受けられるようお願いいたします。

〔学位担当：医学部事務部庶務課 米村・飯田（内線3014）E-mail：yonemura\_mio@kurume-u.ac.jp, k\_iida@kurume-u.ac.jp〕

##### 2. 口述試験〔期間：令和2年2月3日（月）～2月19日（水）〕

\*試験日と場所は後日通知する。

##### 3. 最終審査〔令和2年2月26日（水）〕

\*可否については3月2日以降各々指導教授に確認すること。

##### 4. 学位記授与式〔令和2年3月25日（水）11時～〕

\*場所：筑水会館2階イベントホール



### ◆博士課程の皆様へ◆

#### 「研究計画」の策定及び提出依頼について

博士課程の学生を対象に、令和2年2月頃に「研究計画」の書類を送付いたします。これは、久留米大学大学院医学研究科規程第4条及び学位論文指導計画等策定に関する内規に基づき、在学中の計画的な研究と学位論文作成のため、毎年各自の研究計画（テーマ・目的・方法）を指導教授の指導の下で策定いただくものです。期日までに必ず医学部事務部教務課までご提出ください。

### ◆博士課程第4学年学生の皆様へ◆

#### 学位論文提出の手続きがお済みでない方へ



今年度、学位論文を提出されない方については、令和2年1月下旬頃を目途に医学部事務部教務課から「在学期間延長・単位修得満期退学希望調査」を実施いたしますので、ご回答をお願いいたします。

## 医学研究科入学試験について

令和元年10月15日（火）に行われた前期入学試験の結果は下記のとおりです。  
後期試験については次項のとおり実施します。

合格者	修士課程 18名	博士課程 8名
-----	----------	---------

### 令和2年度 大学院医学研究科後期入学試験のお知らせ

【試験日程】修士・博士ともに同一

出願受付期間：令和2年1月14日（火）～ 令和2年1月24日（金）

試験期日：令和2年2月18日（火）

合格発表：令和2年3月13日（金）午前10時

【試験内容】

#### \*修士課程

医科学専攻<<基礎医学群・社会医学群>>・総合生命科学・バイオ統計学専攻<<総合生命科学群>>・看護学専攻<<修士論文コース・専門職養成コース>>

英語・小論文・面接

総合生命科学・バイオ統計学専攻<<バイオ統計学群>>

英語・面接

#### \*博士課程

英語・面接



別途、科目等履修生も募集しております。身近な方で、医学研究科に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介の程どうぞよろしくお願いいたします。

## 大学院医学研究科 第5回研究発表会について

大学院医学研究科第5回研究発表会が、12月9日（月）・10（火）に行われました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。一昨年度より必修化し単位認定を行っています。また、特に優れた発表を行った以下3名に対し、表彰を行いましたので、併せてご報告いたします。

### 優秀賞

病理系専攻

南里 文 さん

### 最優秀賞

個別最適医療系専攻

岡崎 真悟 さん

### 優秀賞

個別最適医療系専攻

荒木 俊博 さん



### 学生駐車場の募集について

現在大学院に在籍する学生の令和2年度学生駐車場の申請については、例年2月初旬に受け付けております。当該時期になりましたら、各所属講座や医学研究科ホームページを通じてお知らせしますので、申請を希望される方はご確認をお願いします。

※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※

### 編集後記

令和元年も残すところあとわずか。今年は皆様にとってどの様な1年でしたでしょうか。御身体を御自愛いただきどうぞ良いお年をお迎え下さい。令和2年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。(大学院チーム一同)